

平成30年 第5回 教育委員会定例会議事録

招集日時 平成30年5月24日（木曜日）午後3時開会／午後4時閉会

招集場所 加賀市民会館3階 15会議室

教育長 山下修平

出席委員 篠原隆一、山下裕嗣、疎幹子、佐野明子

会議列席者 越中谷次長兼学校指導課長、山本教育庶務課長、宮下生涯学習課長、新家中央図書館長、

柏田山中図書館長、宮本教育総合支援センター所長、奥村マラソン開催推進室長、山下教育庶務課長補佐

平成30年第5回教育委員会定例会開会宣言

挨拶

○山下教育長 今年度に入りまして早2ヶ月が過ぎようとしています。最近のテレビ報道などを見ておりましたが、新潟での小学校2年生の殺害事件等本当に痛ましい、また幼い命がなくなるという我々教育関係者にとっては大変つらいニュースが飛び込んでまいりました。管理下外ということもあってなかなか学校現場では難しい面もあるんですけど、また地域、社会と協力しながら、見守り隊とか110番の家とか、そういうこともまた考えていけないかなと感じております。

そしてつい先日の日大アメフトのタックル事件、私のようにスポーツをやってきた人間にとっては、あの事件は本当に記者会見を聞いていても憤りがおさまらないという感じであります。あの事件を見まして、またレスリングの志學館大学の学長の記者会見を思い出しましたが、権力の横暴、権力者の傲り、長期政権の傲り、慢心、そういうものがあの記者会見に出ているんじゃないかなと感じております。要するにスポーツ界のトップがあのような会見をしておりますと、それを見ております一般の我々大人、そして子ども達はあれをどう捉えるのかなと非常に憂っております。子ども達に困ったときには嘘をつけばいいとか、黙っていればいいとか、記憶にありませんとか、そのようなことで時間が経ってうやむやになっていくというようなことを教えているような、そういう今の社会の状況に私は非常に憤りを感じております。スポーツ界のトップがそういう状態であるならなお、我々学校教育、社会教育、そして家庭教育の中でどうあるべきかをきちんと教えていけないといけないのではないかなと思います。そしてアメフトのタックル事件などは、まさに道徳の生きた教材になると、それをみんなでどうすべきだったのかということ論議させるということが、生きた教材になるのかなと感じております。宮川選手の会見を聞いて、私はあれが記者会見だと思いました。誠実さも感じられましたし、本当に潔く自分のしたことを認めながら誠実に述べる。それに対して昨日の監督コーチの記者会見はまだこの期に及んでこのような会見をするのだなと感じさせるような記者会見でありました。ああいうものを子ども達が見ると、誰を信じていけばいいのかということをつくづく考えさせられます。こんなときこそ底辺を支える我々教育委員会、学校教育がきちんとそういうものを教えていく必要があるということを感じております。

最近のいろんな事件を通して、私の私見を少し述べさせていただきましたが、明るいニュースがほしいなと感じております。それでは審議事項に入っていきたいと思っております。議案第31号、平成30年度6月補正予算（案）について山本課長お願いいたします。

● 議案第31号 平成30年度6月補正予算(案)について

山本課長 資料に基づき説明

宮下課長 資料に基づき説明

○山下教育長 ただいま6月の補正予算案について庶務課長並びに生涯学習課長から説明をしていただきましたが、資料でいうと3、4、5ページにあたるようになります。これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 はい、何点かお願いします。まず3番目の人権教育研究推進事業についてでございます。これは金明小学校に指定をなさると書いてありますけれども、指定期間はどれくらいになるのかというのが1点目です。それから学校教育の中での人権教育推進は大変素晴らしいことだと思いますけれども、加賀市においても、市長部局の中の総務課の中に人権擁護委員というものが選ばれております。これは私の意見ですが、その方たちとぜひ連携されて、単なる学校の狭い分野だけではなくて、幅広い分野の中での連携を模索していく中で、この人権教育の充実が図ればいいんじゃないかと思っております。以上です。

○越中谷次長 はい、1点目の指定期間ですけれども、今年度、来年度の2年間の指定となります。2点目ですが、本授業については学校における人権教育に関する指導法の改善及び充実が目的となっていますが、その中に学校、地域、社会が一体となったという文言がありますので、先ほど篠原委員さんがおっしゃった通り、連携の方をとっていきたいと考えております。

○篠原委員 代理講師など、そういう方をお呼びになったり、あるいは実際にやっていらっしゃる方、実践をなさっている方を幅広くお呼びになって、この人権教育の充実を図れたらいいと思います。よろしく願いいたします。

○越中谷次長 貴重なご意見をありがとうございます。

○篠原委員 続いて5番目の地域ICTクラブ、先ほど生涯学習課長さんからご説明いただきましたけど、ややまだはっきり何をなさるのかわからないので、例えば3箇所にこういうものを作りたいということで、5ページに具体的な加賀市地域ICTクラブ推進協議会を設けるとか書いてありますけれども、もう少し詳しく説明していただけないでしょうか。

○宮下課長 はい、総務省の方ではそのクラブを地域に作ってほしいということがございまして、クラブを起すための協議会をつくってくださいということで、代表が加賀市ということになります。協議会の中身につきましては、ICTに関連するような、商工振興課の方でも関連してやっております団体でありますとか、そういった方たちを取り込みながら、スマート加賀IoTはもちろんそちらの方ですし、みんなのコードはプログラミング教育の方でお手伝いしていただいているところですし、インテトラスは地域おこし協力隊の方です。交流プラザさくらの方に拠点を置いていらっしゃいます。あとスマートインクルージョン研究会ということで、今回、障がいを持たれている方も受け入れるようなことを考えてくださいという課題もしておりますので、またそういった方たちのご意見をいただきながら進めたいということです。あとエーデルワークスさんとかテクノアルタエンジンさんもさくらで協力していただいている団体の方です。この方たちで協議会を組みまして、具体的にはインテトラスさんでありますとか、エーデルワークスさん、テクノアルタエンジンさんに当面1年は指導者となっていただいて、そこでプログラミング教育をしていただくと。ただお話の中では先生と生徒というのですとちょっと続けづらいので、子ども達をとりまとめるような指導をしてもらおうという程度で、要は好きな人がわいわいと集まりながらこれだったらどうやったらできるんだろうと、自発的

に教え合うようなものになっていけばいいのかなど。あとで講演会のお話も出てくるんですが、若宮さんという80歳を過ぎてコンピュータプログラムを作ったという、その方の講演会も今後検討しております、その方のイベントの中でもこういった方に興味を持たれている方にアンケートをとるなり、関わっていただけるようなかたちで取り組みたいと考えております。同時に一般の方で関わっていただけそうな人に対しても、メンター教育を併せて行って、31年度以降はそういった方たちにとりまとめてもらおうと。やはりそういう方はプログラムをゴリゴリ書き込むような方ではなくて、子どもが好きで、そういうことができる方をイメージしております。そういったことでとりあえず1年やってみて、ここがこういうやり方でやったら人が集まったとか、こういうやり方でやったら効果が出たということを反省しながらまた次年度につなげていくといったようなイメージをしております。以上です。

○篠原委員 ありがとうございます。今のお話よくわかりました。対象は子ども達で、子ども達を取り巻く保護者とか大人も巻き込んで、ゆるやかなかたちでいわゆるプログラミングみたいなことをやっていくんだらうなというイメージを持ちました。そこで今年度は10割補助で100パーセント国負担ですね。これは1年で終わりということはないと思うので、次年度以降は国の補助はどうなるのかということと、それから継続して10年なり、20年なりある程度のスパンを持ってこの事業をやっていくのかという、そういうことも併せて今後の見通しなどもわかればお願いします。

○宮下課長 はい、国からの委託につきましては今年度で基本終わりです。基本的には2、3年目以降については自助でできるような体制を考えてくださいますとも言われております。ですからクラブとなれば、コーチ代はみんなで出し合おうという話にもなりますし、そういったふうにできるように今年、いくらくらいならやってもいいかなというようなアンケート等もとりながら、来年の組み立ては考えていきたいなと思っています。例えば少年野球をやっている子はバットは自分のバットを買うでしょうという話になるので、やはり共用で使っているとなかなか自分が使いたい時に使えなかったりするので、最終的には自分で買うという話にもなるのかなと思っています。今、想定している教材なんですが、マイクロビットとかラズベリーパイとかアルデューノというのは数千円で買えるので、個人で買うということも想定としてはありなのかなと思います。

○篠原委員 ありがとうございます。補助金をもらって終わってしまう事業をあちこちでお聞きしますので、そういうことのないように継続的に自助、あるいは毎年度の加賀市独自の予算で若干の補助をしていただきながら継続できるような体制を組んでいただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。以上です。

○山下教育長 他、ございませんか。よろしいですか。それでは平成30年度6月補正予算(案)について賛成の方は挙手をお願いします。

○委員 全委員挙手

○山下教育長 全会一致で可決といたします。続いてですが、皆さんの方には追加の議案ということではあると思いますが、議案第32号、平成30年度加賀市教科書採択の基本方針案について越中谷次長お願いいたします。

- 議案第32号 平成30年度加賀市教科書採択の基本方針案について
越中谷次長 資料に基づき説明

○山下教育長 ただいま30年度加賀市教科書採択の基本方針案について説明をしていただきま

した。昨年度は小学校における特別の教科道徳の教科書採択をしていただきました。その基本方針案とそんなに違いはありません。ほとんど一緒であります。今年も小学校における平成31年度に使用する道徳以外の教科書の採択と、中学校における31年度から使用する特別の教科道徳の教科書の採択と、このふたつを行うというところが昨年と違うところがあります。ですが、基本的な考え方、採択の流れ等は同じようなものと理解していただければ結構かと思いません。これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員　　お願いします。確認ですが、小学校は来年度1年間だけの教科書を採択するとお聞きしました。そこで採択委員会の調査、研究の従来の資料が残っていると思いますので、それを基にして新たに教育委員会の方でその教科書を選定していくということになると思います。それに伴って採択委員会なるものは、小学校の場合は行われたいというふうに理解してよろしいでしょうか。

○越中谷次長　　はい、採択委員会の方は小学校の方も行いますが、教科書の内容が前回から変わっていませんので、研究員を置いて研究をするということはありません。前回の研究の報告書を元に行います。

○篠原委員　　わかりました。

○山下教育長　　他、ございませんか。よろしいですか。それでは今年度行われる加賀市教科書採択の基本方針案について賛成の方は挙手をお願いします。

○委員　　全委員挙手

○山下教育長　　全会一致で可決いたします。資料の説明はよろしいですか。

○越中谷次長　　お願いします。それでは資料と書かれたものについてご案内します。これは資料ということで、石川県の教育委員会の方から出された通知を印刷してあります。はじめの1ページ目からのところは平成31年度使用教科書の県の採択方針についてということと書かれています。この文言にのっとって先ほどの加賀市の採択基本方針の方も策定されています。かい摘んで説明をいたします。4ページからは教科書採択における公正確保の徹底等についてということで、これは文部科学省の初等中等教育局の方からの通知文が載せられています。内容についてもこれまでの採択に書かれていたものとほぼ合致しているかと考えています。15ページからは平成31年度使用教科書の採択事務処理について、同じく文部科学省の方から課長通知ということで出されているものです。事務処理に関しても滞りなく行っていきたいというふうを考えております。以上です。簡単ですが、説明を終わります。

○山下教育長　　今の資料は使用教科書の採択方針についての県教育委員会からの通知、それから教科書採択における公正確保の徹底等について、使用教科書の採択事務処理についての文部科学省からの通知の詳細の資料ということでご理解を願いたいと思います。

それでは審議事項は終わりました。報告事項に入りたいと思います。

報告第21号、ロボレーブ世界大会2018への参加結果について越中谷次長お願いいたします。

● 報告第21号 ロボレーブ世界大会2018への参加結果について

越中谷次長　　資料に基づき説明

○山下教育長　　ロボレーブ世界大会2018への参加結果について説明をしていただきました。昨日、そこに載っております6名の児童生徒が副市長表敬をいたしました。その中で話を聞きましたら、東和中学校は予選を1位で通過したということで、優勝の可能性もあったんですが、決勝トーナメントの1回戦で、アメリカが非常に調子が良すぎたということで残念ながら負け

てしまいました。ですが、実力的には優勝しても不思議でないくらいの力を備えていたということ。加賀市であった大会と違うのは、加賀市は決められた時間内にどれだけ多くのピンポン玉を入れられるかという競技でしたが、こちらでは201個のボールをどれだけ早く入れられるかという、若干加賀市であった大会とは違ったということで、そこに写真が載っていますが、コースも非常に難しいコースで、コースが難しいのは小学校のアメーシングも加賀市でやったものの倍くらいの距離があって大変難しかったと。それを本番に微調整をしながら臨んだということで、三谷小学校のチームも非常によく頑張ったし、東和中学校は世界1位くらいの力を備えていたというような報告でありました。これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

それでは続いて報告第22号、中央図書館・山中図書館の蔵書点検及びシステム更新に伴う両館休館について新家館長お願いいたします。

- 報告第22号 中央図書館・山中図書館の蔵書点検及びシステム更新に伴う両館休館について
新家館長 資料に基づき説明

○山下教育長 中央図書館、山中図書館の蔵書点検及びシステム更新に伴う両館休館についてということで、両館とも7月1日から7月11日まで休館をします。それからホームページも停止をするというような説明でありました。これについて何かご意見、ご質問ございませんか。なければ続いて報告第23号、平成30年度市民文化講演会について宮下課長お願いいたします。

- 報告第23号 平成30年度市民文化講演会について
宮下課長 資料に基づき説明

○山下教育長 平成30年度の市民文化講演会ですけれども、第1回目ということで、8月4日に長生殿で若宮正子氏、利根川裕太氏をお迎えして行われるということでありました。これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○疎委員 はい、この方は私もテレビで見たことがあるので、知っている方は知っている結構有名な方ですよ。駐車場はどうなりますか。

○宮下課長 駐車場は前の駐車場しかないので、なるべく乗り合わせでお越してください。

○山下教育長 医療センターは使えますか。

○宮下課長 医療センターにお願いして確保できるようにしたら。またチラシを作る折に併せてお知らせしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○山下教育長 他、ございませんか。

○篠原委員 関連してお願いいたします。今、会場のお話が出てきましたけど、やはりひとは民間の施設は当然有料になりますよね。それに伴う経費負担の件。それから今疎委員さんからもお話があった駐車場の件等々ありますので、できれば市民会館の3階の立派なホールもありますし、ここは当然市の施設なので、会場費もかからないということもあります。やはりいろいろな面で考えていきますと、民間の施設を活用するのもそれはそれでいいことなんですけど、できればたくさんの方がこの講演会に来てくださるということが大きな狙いとなってくると思います。この日でないとしてもこの方のご都合がつかないのかもしれないけれども、いろいろな諸事情も併せて早め早めに会場を押さえていただくなり、あるいはそういうような工夫をしていただきながら、昨年度も文化講演会は2回行われていましたので、2回目には別の

会場ということで、ご配慮いただきたいと思います。時間的な問題もあって、いつも文化講演会は夜に行っていますよね。今回は午後ですよ。午後ですので、ますます人が集まりにくいんじゃないかと懸念されます。ですから、時間のこと、会場のこと等々、素晴らしい中身だと思っておりますが、果たして大勢の方が集まるのかどうかということが懸念されますので、次回に講演会を開かれるときにはそれも併せてご配慮のほどよろしくお願ひしたいと思っております。以上です。

○宮下課長 はい、篠原委員のご指摘はごもっともなお話で、この日とか時間帯は、先方の都合とかを擦り合わせていましたところ、どうしても会場がとれなかったということもございまして、次回からはご指摘の通り、なるべくそのようにさせていただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

○篠原委員 よろしくお願ひいたします。

○山下教育長 今回は大変有名なお2人で、この日しか空いていなかったということで、もうすでに市民会館が別の団体が予約済だったということで、長生殿になったということでご理解をください。他、ございせんか。それでは皆さん方もぜひ8月4日、時間を空けておいていただければと思ひます。続きまして報告第24号、東京2020オリンピック・パラリンピック フラッグツアーについて中田課長お願ひいたします。

- 報告第24号 東京2020オリンピック・パラリンピック フラッグツアーについて
中田課長 資料に基づき説明

○山下教育長 明日の8時半から17時の間に市役所ロビーで行われるということで、滅多に見る機会はございせんので、時間がありましたらご覧いただければと思ひます。これについて何かご意見、ご質問ございせんか。よろしいですか。それではこれでよろしくお願ひいたします。
一応これで報告事項は終わりました。次にその他ということで教育長、教育委員と校長会との意見交換会について山本課長お願ひいたします。

- 教育長・教育委員と校長会との意見交換会について
山本課長 資料に基づき説明

○山下教育長 ただいま2点の連絡がありました。5月31日に校長研修会が行われるんですけど、午後に校長会と教育委員の意見交換会をだいたい1時間くらいと思ひていてください。昨年も同じ形式でやりましたので、だいたいおわかりかと思ひますけど、そういう予定で行います。

もうひとつはシンガポールのSSTの子ども達が日本を訪問します。そこで6月20日水曜日の19時から長生殿で歓迎会を行うということでありますので、時間の都合がございましたら参加の方、よろしくお願ひいたします。この点につきましてご質問等ございせんか。なければ続いて次回の教育委員会の定例会について山本課長お願ひいたします。

- 教育委員会定例会次回日程について
山本課長説明

- 山下教育長　それでは6月29日金曜日の9時からでよろしく願いいたします。本日予定をしておりました議件はすべて終了いたしました。この際皆様方の方からご意見等ございますか。
- 篠原委員　ひとつお願いします。これはスポーツ課の方にお問い合わせになるんじゃないかと思いますが、先日、連合運動会に行っていまいりました。大変いい天気でも子ども達は頑張っていたんですが、陸上競技場の放送設備の問題がちょっと気になりました。というのは、ボランティアで陸上のOBの先生方とか、我々教職員のOBの先生方が放送設備を担当して効果音とかをやっていたんですけど、外部に出すジャックの接続具合がよくないというふう聞いております。それで今回はそれを使わないで、新たに今年退職されたOBの先生が持っていた私物を持っていらして、それをもとに放送したというふうにお聞きしています。たぶんこれは指定管理なので、陸上競技場は指定管理の団体の方でもしかしたら施設設備のことは直すのかもしれませんが、一度指定管理の団体にお聞きしていただきながら、うまく放送ができなかったのも、そういう話も伝えておいてもらえないかということをお聞きしましたので、今ここでお伝えした次第であります。お願いいたします。
- 山下教育長　中田課長、その点について何か聞いていますか。
- 中田課長　いいえ、すみません今初めてお聞きしましたので、調査をさせていただきまして早めに対応できるようにしたいと思います。
- 篠原委員　ジャックとかその程度のものならすぐに直ると思うので。そういうことを言われていました。
- 中田課長　それよりも判定装置の不備の方が報告されていたので、そちらで少し心配していたんですが、判定装置が作動しないということで。今週末も中学校の記録会がありますので、今はとりあえず大丈夫になっているんですが、それが終わってまた6月にも大きな記録会がありますので、それが終わったら本格調査をして対応したいとは思っておりましたので、一緒にその放送についても確認します。
- 篠原委員　よろしく願いいたします。
- 山下教育長　ありがとうございます。他、ございませんか。
それでは以上で第5回教育委員会定例会を閉会いたします。ご苦労様でした。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。